

# 活かされた、ベテラン CA の経験 松山で客乗の原告が救急救命活動

2013年3月14日、愛媛県松山市内で開催されたNTT通信労組への支援行動に参加した原告が、人命救助を行いました。客室乗務員として乗務経験を積み、毎年の訓練によって培われた知識が発揮された事例でした。原告からの報告をもとにこのニュースを作成しました。

## 通信労組支援行動で緊急事態が発生

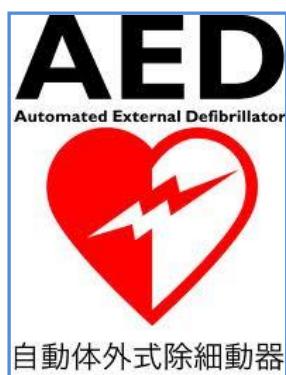
松山一番町 NTT 四国本社前、3月 14 日朝のことでした。愛媛在住の JAL 客室乗務員の原告、林さんと私(大池)NTT 通信労組ストライキ支援行動に参加していました。

数人の方の支援あいさつに続きOBのAさんが演壇に。力のこもったあいさつの最中、Aさんはマイクを握ったまま左半身を下にして倒れました。突然のことで、だれも支えることができませんでした。

気道確保 AED持ってきて～！と大声で

Aさんは、倒れた直後には呼吸もあり、呼び掛けにも弱いながら反応が見られました。周囲の人が倒れた時に頭を打ったと話しているのも聞こえました。

近くにいた私は駆け寄り、脈拍を確認。しかし、すでに脈はなく、呼びかけにも反応がありません。さらに悪化



## AEDを使用し2人で蘇生処置

AED が届き、私たちは、手順通り救命処置を始めました。Aさんの胸を開き、AED からパッチを取り出して貼ると AED は自動的に除細動を分析して、ショックを与える指示を出しました。周りの安全を確認して、スイッチを押したあと、心臓マッサージと人口呼吸をつ

づけました。再度、AED  
からショックを与える指示  
がだされ、それに従いま  
した。こうして心肺蘇生  
措置を繰り返していると、  
救急車が到着し、無事  
病院へ搬送。10分も経た



病院へ搬送。10分も経たない間の出来事でした。

私たちは客室乗務員として、毎年のファーストエイド訓練で十分教育されていたので、落ち着いて対応することができました。

良かった～！意識を取り戻した A さん

病院に搬送された Aさんは1時間後に心臓が動き出し、5日後には意識が戻られたそうです。本当に良かったです。

## 4月15日付の愛媛新聞 2人の活躍が投稿欄に